

私たちからみえる『こうち』

現状・課題

少子高齢化
都市への人口移動による人口減少
→まちの活気がなくなり交通機関やお店の需要が減少する



高齢化率
27.7%→39.3% (10人に4人が高齢者)

知名度の低さ
イメージの固定化、単純化
→魅力があっても十分に伝わっておらず、人を呼び込めない

これら2つの課題を解決するには

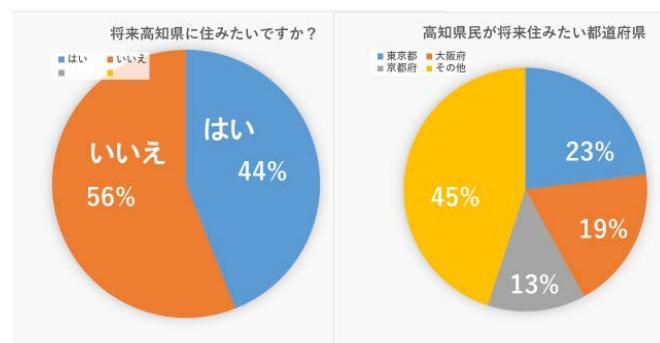
移住促進→・人口を増やすことができる。

- ・人口の少ない高知が移住によって人口を増やしていけば、さらにそれを話題にとりあげができる。
- ・高知市は移住に関する取り組みを積極的に行ってている。

では、どうすれば移住者が増えるか....

現状・課題→克服 〈仮説〉

高知県民が誇れるまちになれば、
移住者が増えるだろう。



理想の地域



高知県に将来住みたい人は半分以下

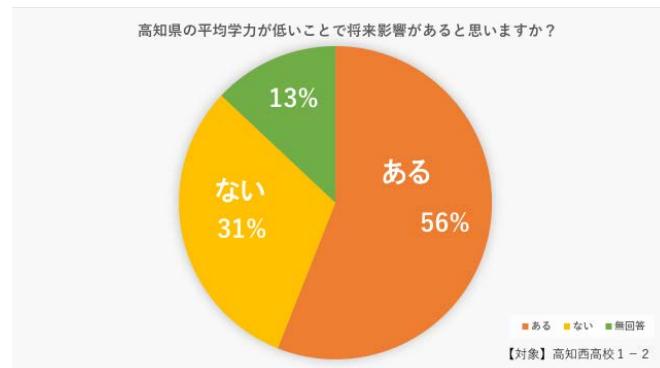
つまり、

高知県民が高知の魅力・良さを知っていない



映える場所+非日常的な空間

高知県の教育に不満はありますか？



企業と交流する機会を増やす

移住はハードルが高いのでは？

観光地の少ない高知市でも、こうちの食材をアピールすることで、食を目的とした他県からの旅行客数を増加させ、観光業を活性化させるという狙いでした。

しかし.....

高知やなくてもいいやん。

高知の魅力を再検討!!

住んでみないとわからない、通わないと伝わらない魅力がある。

高知 移住計画 【高知市の魅力】

県庁所在地である高知市の魅力①

- ・中心部でも自然を感じられる。
→車で30分も走れば高知市の豊かな自然を感じられます！

高知市は西方と北方に山地があり、東方には水田、南方には太平洋に臨む自然に恵まれた都市です。



高知 移住計画 【高知市の魅力】

県庁所在地である高知市の魅力②

- ・コンパクトシティである。

→人口33万人の都市には、働く場所や起業するチャンスもある！
*女性の有業者、管理職比率が全国一位で、力を合わせて社会をつくっている風土があります。（総務省）



高知 移住計画 【高知市の魅力】

県庁所在地である高知市の魅力③

- ・医療や福祉 文化が充実している。

→様々な移住スタイルに対応できる魅力があり、定住に向けた支援制度も充実しています！

土佐山アカデミー→「つながりづくり事業」などを実施
しいの木→移住を考えている方々が事前に高知の暮らしを体験できる施設

おすすめの移住先25選に、土佐山地区が選出されるなど
移住制度が充実している！

移住制度 高知は移住の取り組みの先進地！



「しいの木」がある高知市鏡地区は、JR高知駅から車で約30分。
お城下からそう遠くない場所でありながら、北は綿畑で美しい丘並みが広がり、
平成の名水百選にも選ばれた高知市の水瓶「鏡川」の涼やかな水音が聞こえてくる自然豊かな水の里です。

龍馬も泳いだといわれる清流鏡川で釣りをしたり、山歩きを楽しんだり、地元の方とおしゃべりしたり。
近くにコンビニはありませんが、満天の星空や街中では味わえない開放的なロケーションを満喫できます。

「しいの木」で、ちょっとだけ不便なところも含め、ゆったりとした田舎暮らしを楽しんでみませんか。

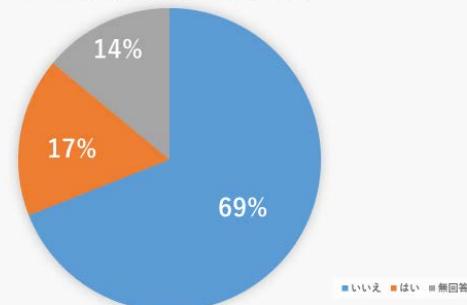
さらに！！



コロナ感染拡大前と比べ快適さを求めて
住宅の購入を検討する人が増えている。

賃貸の3人に1人が地方・他県への
移住を検討している。

高知県の移住への取り組みを知っていますか？



SNSしか勝たんっ！です。

Instagram→年齢層：40代が最も多く、幅広い年齢層に親しまれている。
特徴：写真や動画で視覚に訴えることができる

簡単に画像の加工が行える・ハッシュタグ検索が便利

投稿の拡散力が低い

Twitter→年齢層：20代が最も多く、若い年齢層に親しまれている。

特徴：投稿の拡散力が高い・一日に多数投稿しやすい

字数制限がある

TikTok→年齢層：10代～30代、女性が多い。

特徴：アプリを起動するといきなり動画が再生される

投稿の拡散力が非常に高い

アンチが多い...

そして、ターゲットは...

親子連れの方々

です。